

デイリー・ジーザス・ニュース #225

イエスのエルサレムへの最後の旅

イエスの最後の到来を待ち望む

ルカ17.22-25 (繰り返しテキスト : マタイ24.26-28)

23 そこでイエスは弟子たちに言われた。 「人の子の日を一日でも見たいと切望する日が“来ますが、見ることはできません。

23人々はあなたに向かって、『見よ、そこに彼がいる』、『ここにいる』と言うでしょう。しかし、私はあなたに命じます。彼らの後を追つて逃げて行つてはなりません。

24 「地平線から地平線までひらめいて空を照らす稲妻のように、人の子もその日にそうなるであろう。

25」しかし、彼はまず多くの苦しみを受け、またこの世代の人々に拒絶されなければなりません。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ =^{MT} 、マーク=^M 、ルカ =^L 、ヨハネ =^J 、使徒行伝 =^A 。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体**はイエスの言葉を示します。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムへの道のどこか
タイムライン	3月 (38月)
イエスの生涯の文脈	第7段階 : ペレアにおけるイエスの宣教
	C. イエスのエルサレムへの最後の旅
タイトル	の最後の到来を待ち望む

コメント :

今日の朗読は、ルカによる福音書 (17章22-37節) の冒頭部分から始まります。これはマタイ伝24-25節の「オリーブ山の説教」に酷似しています。これは、イエスが様々な場面で、様々な弟子たちと、しばしば教えを繰り返していたことを示唆しています。

この聖句はまた、イエスが天に戻られた後の時代、そして弟子たちが聖霊の働きを通して地上でイエスと一緒に生きて生きる時代を予見していたことを示しています。イエスは、私たちが今も生きているその未来の時代を見据えて、弟子たちを訓練しておられました。イエスはこの部分を、ご自身のこの未来志向を示す言葉で始めています。 「時が来る...」

デイリー・ジーザス・ニュース #225

イエスは、弟子たちが天に戻った後にどのように生きるかを予見していたので、肉体でイエスを知っていた人々が、天に戻った後、イエスを深く恋しがるであろうことを知っていました。後にイエスは、弟子たちにとって肉体的に離れる方が実際には良いと告げました。なぜなら、天に戻れば、彼らに内在する聖霊の働きが開かれるからです。それは、肉体でイエスと共にいるよりも優れた働きです（ヨハネ16:8-15）。

それでも、イエスは、私たちがご自身が亡くなった後も、ご自身の顔を見たい、生身の声を聞きたいと切望するであろうことを知っていました。そして、この聖句でイエスが語られたのはまさにこのことです。

イエスに再び会いたいという熱烈な願いは、イエスが最後に地上に再臨される時にのみ満たされます。そこでイエスは弟子たちに、ご自身の再臨に関する最も重要な真理を教え始めました。この聖句は、弟子たち（そして私たち）に一つの重要な真理を告げています。

イエスは復活の体で地上の一箇所（復活後、天へと旅立つオリーブ山）に再臨されますが、この惑星への再臨は、天空の光の啓示を伴い、同時に地球全体に広がります。言い換えれば、世界中のすべての人が、イエスの再臨の目に見えるしるしを、世界中で同時に目にします。誰一人、どの場所も見落とされることはありません。このしるしの力によって、イエスの再臨に疑いの余地はありません。

イエスの最終的な再臨には、この普遍的で目に見える合図が伴うため、イエスがまだ来られたのかどうか疑う必要も、合図なしに特定の地域に再臨するという報告の信憑性を信じる必要もありません。偽のメシアが現れ、人々はそれを信じるので、「イエスはここにいる！あそこにいる！」という報告が時折流れるでしょう。

しかし、主は私たちに、それらの噂を信じてはならないと明確に命じられました。なぜなら、それはすべて偽りだからです。イエスは、来臨の普遍的なしるしを伴つてのみ再臨されます。私たちは、主の約束が真実であることを確信できます。

イエスはまた、弟子たちに、天に召される前にまず私たちの罪のために苦しみを受け、そして復活しなければならなかつたことを思い出させる機会をとらえました。弟子たちはイエスのこの教えを理解できませんでしたが、イエスはそれでも彼らにそれをもう一度教えました。なぜなら、約束された聖霊がペンテコステの日に彼らの内に宿った後、ご自身の死と復活について語ったことを彼らに思い起こさせてくださるとイエスは知っていたからです。弟子たちは今は受け入れられないものの、後には聖霊の力によって、信仰のまさに中心として完全に信じるようになるのです。イエスはここでも、将来、聖霊を通して彼らと交わることになるであろうことを見越して、弟子たちを訓練しておられたのです。

応用：

イエスの教えの中で、最後の再臨に関してイエスが約束し、命じたことほど誤解されている部分はありません。この点において、私たちの信仰をイエスの教えに合わせることで、私たちはイエスの最後の再臨の時まで、主の資源と目的を善く管理する者として生きることができるでしょう。これらの重要な教えを誤解することは、私たちが非生産的な僕となり、イエスの関心事とは全く関係のないことに時間を浪費することを意味します。私たちはこれらの教えに細心の注意を払う必要があります。

デイリー・ジーザス・ニュース #225

現代に生きていて、イエス自身を名乗る偽メシアをご存知ですか？実際、そのような人はたくさんいます。

イエスの再臨についてのイエスの教えに、どのようにもっと注意を払い、誤りを避け、イエスが来られるまでイエスに仕えることに固執するつもりですか。